

第9回 溪流保護シンポジウム

…砂防ダムを考える…

私たちは溪流環境を保全するために、11年間に及び土砂災害低減や砂防施設のあり方について問題提起をしてきました。

その中で人々の関心も徐々に高まりつつあります。

今、東日本大震災を契機に税金の使い方や公共事業のあり方について、再度考える必要性が問われています。

多くの国民がこのことに関心を持てば政治は変わってきます。

今何が必要なのか、一緒に考えてみませんか！

◆日時 : 2011年11月19日(土)13:00~17:00

◆会場 : 長野県松本勤労者福祉センター 第5会議室(3階)

松本市中心 4-7-26 (TEL0263-35-6286) ジャスコ東松本店南

・松本駅から徒歩20分

・松本バスターミナルから横田信大循環線、北市内線東回りにて「松本市美術館前」下車、北に5分

または 松本駅東口松本周遊バス「タウンスニーカー」東コースで「勤労者福祉センター下車」

◆資料代 : 500円

基調講演

・砂防ダム問題の今後について : 高橋剛一郎(富山県立大学工学部教授)

・赤谷プロジェクトの意義、現状と課題 : 田米開隆男(元関東森林管理局計画部長)

パネル討議 これからの砂防問題をどのように解決したらよいか？

〈司会〉 田口康夫(溪流保護ネットワーク、水と緑の会)

・オープン式砂防ダムの機能検証 : 大浜秀規(山梨県水産技術センター)

・砂防ダムによる水生昆虫への影響 : 東城幸治(信州大学理学部助教)

ほか基調講演者

〈現地報告〉

裾花川清水沢治山ダム(長野市)、霞沢砂防ダム(松本市)、島々谷砂防ダム(松本市)など

現地見学 参加無料(交通費などは実費)

・日時 : 11月20日(日)9時(集合場所等についてはお問い合わせ下さい)

・場所 : 霞沢または島々谷

・主催 : 「溪流保護ネットワーク・砂防ダムを考える」・「水と緑の会」

・後援 : 「長野県自然保護連盟」

・協賛 : 「千曲川・信濃川復権の会」

アウトドアウェア/スポーツウェアの「パタゴニア」

【問い合わせ先・現地見学会申し込み先】 0263-32-1511 田口

※シンポジウム参加は予約不要です